



**「太宰府市スポーツ振興基本計画」  
の策定にあたって**

## 1 計画策定の背景

今日、わが国では日常生活における利便性の向上、情報化社会の進展、\*1グローバル化など科学技術の発展により、私たちは便利で快適な生活ができるようになりました。

しかしその一方で、都市化が進み、体を動かす場所や機会の減少・人間関係の希薄化により、日常生活における運動不足と精神的なストレスが問題となっています。

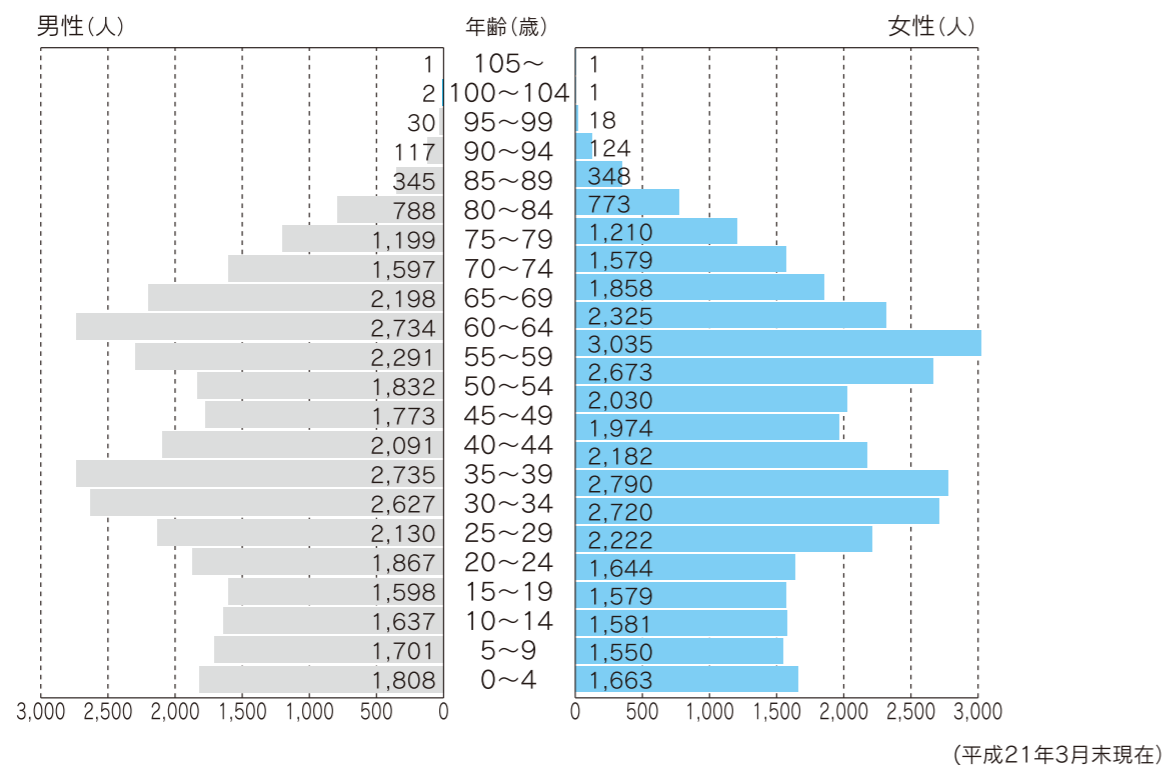
また、子どもにおいては、幼少期にあそびなどで体を動かす機会が減ったことや、食事や睡眠などの生活習慣の乱れ等から体力・運動能力の低下や運動する子としない子の二極化、生活習慣病や体温異常などの健康異常といった「からだの問題」と、自立性や自律性、創造性、社会性の不足などの「こころの問題」などが挙げられます。

さらに、近年の高齢化の進展や「団塊の世代」の一斉退職者の急増により、地域で多くの時間を過ごす人たちがいっそう増加することが予想されることから、体力や健康の保持増進や、居場所づくり、仲間づくりなどを目的とする「生きがいづくり」を求める人たちが今後増加していくことが予想されます。

一方、平成20年後半からの未曾有の不景気により、企業の業績悪化に伴って企業が持つクラブチームの休廃部が増加し、競技スポーツは衰退の危機にあります。

そうした中、地域や学校、企業が連携し、我が国のスポーツ振興をどのようにして支えていくか、そのための新しいシステムづくりが求められています。

【表1-1】太宰府市の年齢別人口構成図



【表1-2】国県体力合計点比較

|       |    | 全国平均<br>体力合計点 | 福岡県平均<br>体力合計点 | 福岡県の全国順位<br>(47都道府県中) |
|-------|----|---------------|----------------|-----------------------|
| 小学5年生 | 男子 | 54.19         | 53.74          | 32位                   |
|       | 女子 | 54.59         | 53.01          | 40位                   |
| 中学2年生 | 男子 | 41.36         | 39.75          | 39位                   |
|       | 女子 | 47.94         | 45.39          | 42位                   |

〔参考データ: 文部科学省「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」〕

【表1-3】昭和60年度との全国平均体力水準比較

| 小学校5年生 |                   | 握力<br>(kg) | 反復横とび<br>(点) | 50m走<br>(秒) | ソフトボール投げ<br>(m) |
|--------|-------------------|------------|--------------|-------------|-----------------|
| 男子     | 昭和60年度            | 18.35      | 39.46        | 9.05        | 29.94           |
|        | 平成21年度            | 16.96      | 40.81        | 9.37        | 25.41           |
|        | 差                 | △ 1.39     | 1.35         | △ 0.32      | △ 4.53          |
|        | 昭和60年度の水準を下回る人の割合 | 61.9%      | 37.3%        | 57.4%       | 68.8%           |
| 女子     | 昭和60年度            | 16.93      | 37.94        | 9.34        | 17.60           |
|        | 平成21年度            | 16.34      | 38.49        | 9.64        | 14.61           |
|        | 差                 | △ 0.59     | 0.55         | △ 0.30      | △ 2.99          |
|        | 昭和60年度の水準を下回る人の割合 | 54.0%      | 41.2%        | 59.0%       | 73.5%           |

| 中学校2年生 |                   | 握力<br>(kg) | 持久走<br>男1,500m<br>女800m<br>(秒) | 50m走<br>(秒) | ソフトボール投げ<br>(m) |
|--------|-------------------|------------|--------------------------------|-------------|-----------------|
| 男子     | 昭和60年度            | 31.61      | 366.40                         | 7.90        | 22.10           |
|        | 平成21年度            | 29.82      | 396.81                         | 8.05        | 21.25           |
|        | 差                 | △ 1.79     | △ 30.41                        | △ 0.15      | △ 0.85          |
|        | 昭和60年度の水準を下回る人の割合 | 59.1%      | 64.2%                          | 49.2%       | 52.6%           |
| 女子     | 昭和60年度            | 25.56      | 267.11                         | 8.57        | 15.36           |
|        | 平成21年度            | 23.96      | 294.52                         | 8.90        | 13.37           |
|        | 差                 | △ 1.60     | △ 27.41                        | △ 0.33      | △ 1.99          |
|        | 昭和60年度の水準を下回る人の割合 | 61.0%      | 71.4%                          | 60.8%       | 66.8%           |

〔参考データ: 文部科学省「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」〕

## 2 スポーツの意義

スポーツには「するスポーツ」「観るスポーツ」「支える(創る)スポーツ」の3つのアプローチがあります。

スポーツを「する」ことは、体力の向上や生活習慣病の予防をはじめとする健康維持増進にとどまらず、スポーツをすることによる達成感や爽快感、\*2フェアプレーの精神や思いやりといった心の豊かさを育むことができ、スポーツによるふれあいを通じて、地域の一体感や連帯感を高めることができます。

また、トップスポーツ選手の高い技術やひたむきな姿、世界相手に戦う姿を観戦するなど、スポーツを「観る」ことは、観るものに夢と感動を与え、ひいてはスポーツへの関心や興味を高めることから競技スポーツをするきっかけとなることが期待されます。

また、指導者やスポーツイベントのボランティア、地域で実施するスポーツ大会やレクリエーション大会などを企画・運営する\*3コーディネーターなど、様々な形でスポーツを「支える」ことは、やりがいや生きがいをもたらし、地域の活性化にも大きく貢献することが期待できます。

こうしたスポーツの意義を踏まえながら、それぞれの\*4ライフステージに応じて、市民一人ひとりがいつでも、どこでも、そしていつまでも実践できるような「生涯スポーツ」の環境づくりが求められています。



## 3 計画の趣旨

平成12年9月に国(文部科学省)が「スポーツ振興基本計画」を策定し、これを受けて福岡県では平成15年10月に「福岡県スポーツ振興基本計画—スポーツで躍動するふくおか—」を策定し、スポーツ振興の施策目標を体系的に明示しました。

本市においては、これまでも「太宰府市総合計画」をはじめとする諸計画に基づき、スポーツ振興に関するさまざまな施策をおこなってきましたが、現在の社会状況や国及び県の施策目標を踏まえ、「いきいきとしたスポーツライフの創造」をめざして、本計画を策定します。

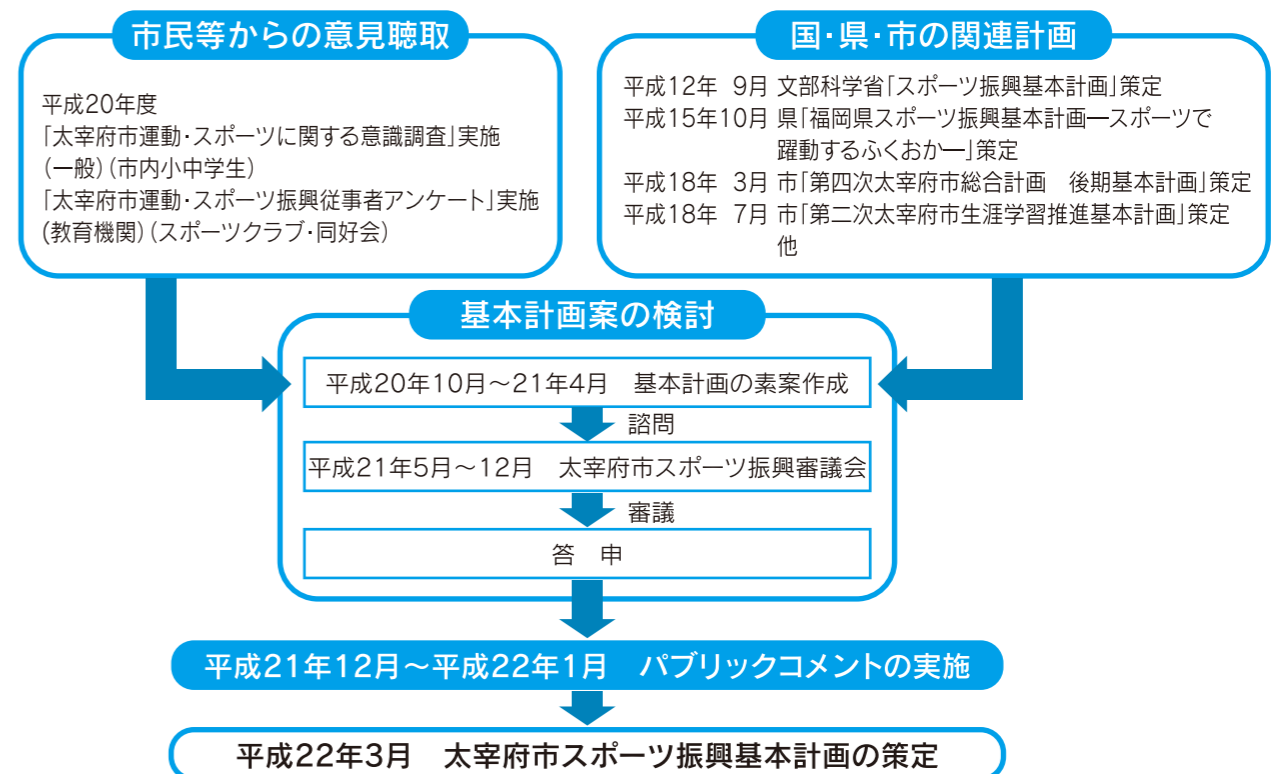
これは、本市の持つ課題や\*5ニーズに応え、事業の改善を図りながら、長期的な見通しを持って市全体で体系的、計画的に取り組んでいくためのガイドラインとなるものです。

## 4 計画の性格

この計画は「スポーツ振興法」に基づくとともに「第四次太宰府市総合計画 後期基本計画」及び「第二次太宰府市生涯学習推進基本計画」をはじめとする関連計画との整合性を図るとともに、太宰府市スポーツ振興審議会の答申を十分に尊重して策定するものです。

また、国の「スポーツ振興基本計画」と福岡県の「福岡県スポーツ振興基本計画」を踏まえ、平成20年度に実施した「太宰府市スポーツ・運動に関する意識調査」及び「太宰府市運動・スポーツ振興従事者アンケート」を計画に反映させることで本市の人的、物的資源を活かしながら、市民のニーズに即した施策の展開をめざします。

【表1-4】本計画策定の流れ



## 7 基本構想

「いきいきとしたスポーツライフの創造」を基本理念とし、地域スポーツ、競技スポーツ、青少年スポーツの3つの領域において、現状を改善するための根幹に捉らえるべき基本施策を、3つの考え方と5つの段階に分けて積極的に推進していきます。

### 3つの領域

#### ①地域スポーツ

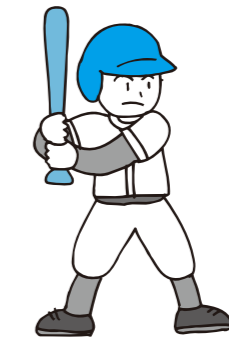
子どもから高齢者まで、誰もがライフステージに適した運動・スポーツを気軽に親しみ、健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりができるような「生涯スポーツライフの実現」を図っていきます。

また、スポーツを通じて家族や地域のふれあいを深め、連帯感や思いやりなど情緒面・社会面の豊かさを育てていきます。



#### ②競技スポーツ

地域における競技スポーツの普及やスポーツ組織の育成と充実を図っていくとともに、一貫した指導理念に基づく個々の特性及び発育発達段階に応じて適切な指導体制の整備に努めていきます。



#### ③青少年スポーツ

子どもの体力低下、体を動かす機会の減少等が叫ばれる中、学校と地域が連携し、スポーツを通じて青少年の「からだ」と「こころ」の健全育成を図り、生涯を通じて豊かなスポーツライフを送るための基盤をつくっていきます。



## 5 計画の期間

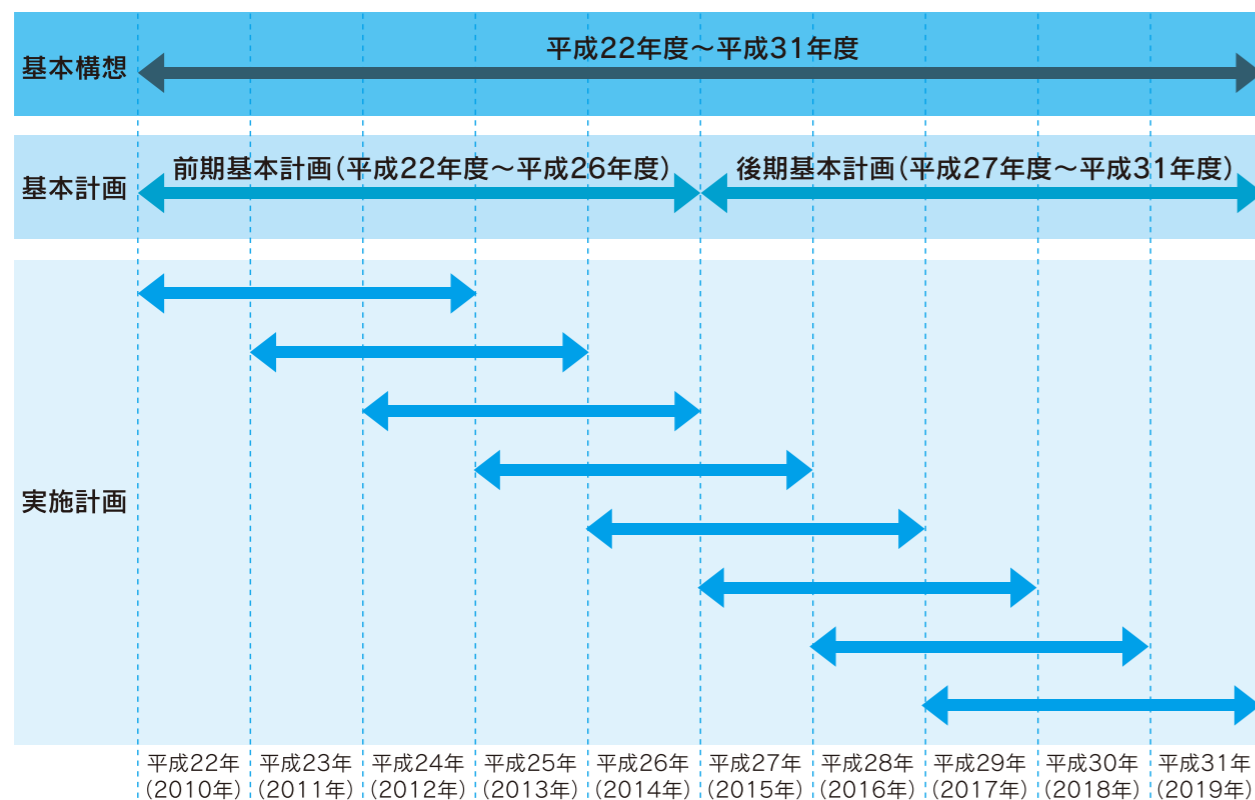
本計画の期間は、平成22年度から31年度までの10年間とし、この期間で実現すべき到達目標と、この目標を達成するために必要な施策に取り組みます。

なお、このうち平成22年度～26年度までの5年を前期の計画期間とし、前期の計画における目標到達の進捗状況について検証し、社会情勢や市の状況の変化などを勘案して後期の施策に対応していきます。

## 6 実施計画

実施計画は、基本計画をどのように実施するのかを明らかにするため、主な事業を実施するための具体的なスケジュールを定めるものであり、3カ年間の計画を\*6ローリング方式により毎年見直し、策定します。

【表1-5】本計画の構成と期間



## 施策推進上の3つの考え方

### ①事業改革

より多くの市民にスポーツ活動の機会を提供するために、これまでのスポーツ事業の成果や意識調査等の結果を活かしつつ、新たなスポーツ環境の創造をめざして事業の変革を図ります。

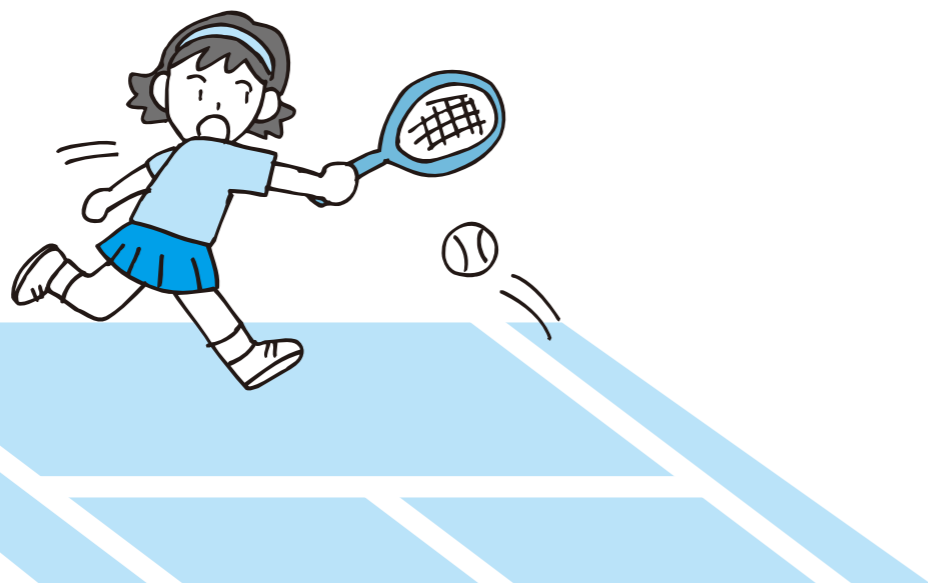
### ②意識改革

自発性、主体性が尊重されるものというスポーツの文化的特性を踏まえ、「行政主導」のスポーツ振興から「市民主導」のスポーツ振興への変革を進めていきます。

また、一部の競技スポーツ指導に見られるような、行き過ぎた勝利至上主義によるスポーツ指導については、勝利を目指すなかで本来そのスポーツが持つ楽しさや道徳的規範を教える指導への意識の変革等をすすめていきます。

### ③組織改革

行政や学校、地域、スポーツクラブなど、関係団体が市のスポーツ振興におけるそれぞれの役割や位置づけを明確にするとともに、組織間の連携強化を図ることで、市全体で広域的なスポーツ振興に取り組んでいきます。



## 施策推進の5つの段階

### 第一段階 きっかけづくり

子どもから高齢者まで、年齢・体力・目的に応じて市民の誰もがスポーツに興味を持ち、親しんでいくための機会を設けたり、情報を提供するなどのきっかけづくりです。



### 第二段階 人づくり

市主催スポーツ行事や地域スポーツ活動、学校、競技団体などでスポーツに関する専門知識を有する指導者やコーディネーター、スポーツ活動を支えるボランティアを発掘・育成したり、彼らを有効活用するためのシステムづくりです。



### 第三段階 組織づくり

スポーツ行政の総合的な推進と、スポーツ団体や関連組織への支援・充実、生涯スポーツ振興を図るための仕組みづくりです。



### 第四段階 環境づくり

\*7ユニバーサルデザインを基調にした公共スポーツ施設及び設備、用具などの整備・充実等、誰もが楽しく快適にスポーツ活動を行っていくための環境づくりです。



### 第五段階 社会づくり

行政・学校・地域等のネットワークを構築し、市全体で生涯スポーツの振興に取り組んでいくための体制づくりです。

基本理念 いきいきとし

たスポーツライフの創造

施策推進上の 3つの考え方

事業改革

より多くの市民がスポーツを享受できるスポーツ環境の創造

意識改革

市民主導のスポーツ振興への変革

組織改革

組織の在り方の再検討と、組織間の連携強化

|                 | 地域スポーツ |   | 競技スポーツ |  | 青少年スポーツ |   |
|-----------------|--------|---|--------|--|---------|---|
| 第1段階<br>きっかけづくり | 目標     | 市民のニーズに即応した地域における運動・スポーツの普及   | 目標     | 競技スポーツへの出会いの場づくり   | 目標      | 子どもが生涯にわたってスポーツに親しむことのできる素養づくり  |
|                 | 施策     | (1)誰でも楽しめる運動・スポーツの振興<br>(2)子どもが体を動かすことを楽しむことのできる運動・スポーツの振興<br>(3)高齢者の運動・スポーツの振興<br>(4)障がい者の運動・スポーツの振興<br>(5)地域スポーツ行事への支援<br>(6)スポーツ関連情報の整備と提供 | 施策     | (1)競技スポーツの普及と振興<br>(2)レベルの高い技術に触れる機会の充実<br>(3)スポーツ観戦の促進<br>(4)スポーツ団体、選手への表彰と市民への周知 | 施策      | (1)学校における子どもの体力向上事業の推進<br>(2)学校における保健体育授業の充実<br>(3)学校運動部活動の充実<br>(4)地域スポーツクラブ等による青少年育成体制の充実 |
| 第2段階<br>人づくり    | 目標     | 地域のスポーツ活動を支える人づくりの推進  | 目標     | 地域の人的、知的資源を活かしたアスリート指導体制の構築  | 目標      | スポーツを通じて心豊かな青少年を育む指導者づくり  |
|                 | 施策     | (1)地域スポーツ指導者の発掘と育成<br>(2)地域のスポーツ事業コーディネーターの発掘と育成<br>(3)スポーツボランティアの育成と活用<br>(4)スポーツリーダーバンクの整備と活用   | 施策     | (1)競技スポーツ指導者の育成と活用<br>(2)高等学校・大学及び民間スポーツクラブ等の人的、知的資源の活用                            | 施策      | (1)青少年スポーツ指導者の指導力の向上<br>(2)学校体育及び運動部活動における外部指導者の活用  |
| 第3段階<br>組織づくり   | 目標     | 地域におけるスポーツ普及のための組織づくりの推進  | 目標     | 各学校及び競技団体等を核とした競技力向上推進体制の整備  | 目標      | 将来の生涯スポーツ社会を担う青少年育成の組織づくり   |
|                 | 施策     | (1)スポーツ行政の総合的な推進<br>(2)体育指導委員活動の支援と充実<br>(3)総合型地域スポーツクラブの充実<br>(4)体育協会の地域スポーツにおける活動の充実  | 施策     | (1)小中高一貫指導体制の確立による競技力向上<br>(2)体育協会による競技力向上体制の充実                                    | 施策      | (1)スポーツ少年団の支援と充実<br>(2)少年期における複数運動の推進   |
| 第4段階<br>環境づくり   | 目標     | 地域における生涯スポーツ活動の場の充実   | 目標     | 市民が快適にスポーツができる環境づくり  | 目標      | 子どもが安心して体を動かすことのできる場の整備   |
|                 | 施策     | (1)既存の社会体育施設の効率的な利用の促進<br>(2)公園、自然のスポーツへの効率的な利用の促進  | 施策     | (1)社会体育施設の計画的な改修<br>(2)開放施設の拡大<br>(3)本市のスポーツ振興に即した総合体育館の建設                         | 施策      | (1)学校体育施設の充実<br>(2)子どもの心身の育成を図るための学校体育施設の複合利用の促進  |
| 第5段階<br>社会づくり   | 目標     | 地域における生涯スポーツコミュニティの構築   | 目標     | 競技力向上をめざす市全体での一貫指導体制づくり  | 目標      | 学校間及び地域との連携と青少年の豊かなスポーツライフの推進   |
|                 | 施策     | (1)市のスポーツ組織の連携<br>(2)民間スポーツ団体や企業、文化系サークルとの連携<br>(3)自治会組織間のスポーツネットワークの構築   | 施策     | (1)競技スポーツにおける市全体での一貫指導体制の整備<br>(2)県民体育大会における競技力の向上                                 | 施策      | (1)同種学校間、小中学校間の交流と連携<br>(2)学校と地域スポーツ組織の連携による青少年スポーツの活動機会の確保<br>(3)市内留学生等とのスポーツを通じた国際交流      |

<目標>  
すべての市民があらゆる機会、あらゆる場所においてスポーツに親しむことのできるまちづくり

<目標>  
市民にスポーツを通じて夢や感動を与えるような競技者を育むことのできる、活力あるまちづくり

<目標>  
スポーツを通じて健康で心豊かな青少年を育むまちづくり